

南会津教育事務所版「指導案作成上のポイント」
～「わかる・できる授業」のために～

- ◎ 指導案作成後、「授業者・主任・管理職」それぞれが、各項目のチェックを行い、充実した授業の台本としての指導案の質を確かめましょう。
「授」・・・授業者 「主」・・・研修主任、学年主任等 「管」・・・管理職
- ◎ チェック項目については、例として挙げました。各学校において加除修正をして活用してください。

単元について

<単元分析>

- 1 単元に関わる学習指導要領について十分読み込んでいますか。
- 2 身につけさせたい力が、観点別に明確になっていますか。
- 3 目指す子供の姿が明確になっていますか。

授	主	管

<3つ個々の「把握」と3つの相互の「関連」>

「目標」から「子供の実態」「教材の価値」を考えたり、「子供の実態」から「単元」「教材の有用性」を見つめ直したり、そして「教材」から「子供のつまずき」や「単元でねらう内容」を再度確認したりするなど、3つの視点について把握するとともに相互の関連を捉えましょう。
3つについて把握した内容をもとに、どのように授業を構成していくか「指導観」として整理しましょう。

教材について

子供について

<教材観>

- 1 単元の目標達成のために適した教材か分析していますか。(特性の分析)
- 2 目標達成に向けての教科書の位置づけ、活用について考察していますか。
- 3 学習内容の系統性(前学年・今後)や他教科との関連(教科横断的な観点)について考察していますか。

授	主	管

<児童生徒観>

- 1 学習内容についての子供の実態把握がなされていますか。(アンケート・レディネステスト等)
- 2 学習内容に対して想定されるつまずきを把握していますか。
- 3 学習に取り組む姿勢・学び方について把握していますか。

授	主	管

3つの関連をもとに
指導観・指導計画を作成

指導について

<指導観・指導計画>

- 1 単元全体を見通した計画となっていますか。(本時の位置付けが明確になっていますか。)
- 2 つまずきに対応した具体的な指導方法を考え、計画していますか。
- 3 子供の実態に応じた時間配分となっていますか。
- 4 主体的な学びとなる指導方法となっていますか。(指導体制、指導形態の工夫等)

授	主	管

本時について

<本時のねらい>

- 1 評価の観点が明確となっていますか。
- 2 単元における本時の位置付けが適切ですか。(内容・活動)

授	主	管